



一般社団法人名古屋工業会会誌

# こぎそ

2023 5-6 月号

**[学位記授与式・入学式]**

2022年度学位記授与式

2022年度名古屋工業会賞贈呈

2023年度入学式

**[ホットライン]**

名古屋工業会基金学生Q1ジャーナル賞表彰式

永年勤続退職者に感謝状授与しました

**[新聞記事コーナー]**

中日新聞

**[情報ネットワーク]**

支部報告・会員ニュース

# No.513

発行 一般社団法人名古屋工業会  
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番  
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



# 「会費の自動引き落とし」をご利用の会員様へ

一般社団法人 名古屋工業会  
理事長 加川 純一

## 名古屋工業会会費の口座振替のお知らせ

会員の皆様におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

会費納入につきましては、ご協力いただき感謝いたしております。

名古屋工業会は、母校の発展と会員相互の交流・啓発を図り、卒業生が実り多い人生を過ごすことができますよう、諸活動を活発に行っています。

これも会員各位の御支援があるからこそ、と感謝いたしております。

早速でございますが、令和5年度の会費納入を、お願い申し上げます。

終身会員の取り扱いにつきましては下記の通りでございます。

工業会の活動はこの会費収入に依存しておりますのでよろしく願いいたします。

※自動口座振替ご利用の方は、令和5年7月6日(木)にご指定の銀行より、  
金5,000円也を引き落としさせていただきます。

### 記

【終身会費について】※平成26年4月1日より会費改定しております。

卒業後10年未満の方	80,000円
卒業後10年以上の方	60,000円
卒業後20年以上の方	50,000円
卒業後30年以上の方	40,000円
卒業後40年以上の方	30,000円
卒業後50年以上の方	20,000円
卒業後60年以上の方	10,000円

※「会費の郵便振替」をご利用の会員様へは次号月に、振込用紙を発送致します。

表紙写真説明

「香嵐溪のカタクリ(豊田市足助町)」

撮影者 名古屋工業会事務局



## 2022年度 学位記授与式

名古屋工業大学2022年度学位記授与式が3月26日(日)、名古屋市公会堂大ホールにおいて、午前には学部、午後には大学院に分かれて、卒業生及び保護者等が出席して厳かに開催された。

式典は、木下学長をはじめ大学役員、加川名古屋工業会理事長等来賓が列席し、名工大

管弦楽団によるバッハ作曲ブランデンブルグ協奏曲第5番第一楽章の奏楽で開式、学長から学位記が授与された。続いて学長式辞、各代表らによる答辞が述べられた。

最後に合唱団によって学歌が合唱され、学位記授与式を終了した。



# 2022年度 学位記授与式 式辞 (学部)

国立大学法人名古屋工業大学長  
木下 隆利 (W50)

学位取得、誠にありがとうございます。本学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを励まし、支えてこられた保護者・関係者の皆様にも心からお慶び申し上げます。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の影響を真面に受けながらも、皆さんは、卒業認定に必要な要件を全て満たし、無事、今日の日を迎えられました。対面だった授業が急遽オンラインへ、そして再び対面授業へ移行する等、これまで経験したことのない揺らぐ教育環境において、更に孤立感・孤独感にも打ち勝ちながら学び抜かれたことに最大の敬意を表します。

学部を卒業し、社会に旅立つ皆さんは、本学で習得した工学の知識や考え方を有効に活用しつつ、新たな環境での新たな失敗から多くを学び、これらの失敗を原動力として一步一步前進してください。

一方、大学院博士前期課程に進学される皆さんは、各自の研究テーマの下、新たな課題の洗い出しや課題解決を重ね、「心で工学」の視点を踏まえ、独創的な修士論文の完成を目指してください。

さて、ここで一つお届けしたいお話は「忘れることの大切さ」についてです。

人間は忘れてしまう生き物だとされていますが、いつまでも忘れられない記憶があるのも事実です。

例えば、意味のない十桁の数字を明日までに覚えなさい、というのと、一やゼロを明日までに忘れなさい、を比べてみたとき、前者の方は可能で後者は不可能だと思われる方が多いでしょう。

さらに、今覚えた意味のない十桁の数字を忘れなさい、というのと、一やゼロを忘れなさい、ではどうでしょうか？

この比較では、前者は可能と答える人が多いでしょう。つまり一やゼロが忘れにくいのは、これらがその人にとって必要だからです。

忘れようとしても忘れられないこと、忘れられなかったことこそがその人にとって真に意味がある。その人にとって必要であり本質的なものではないかと考えます。

夢を抱くのも大変な時代だと耳にします。膨大な



情報が氾濫し、これらを記録・記憶する媒体が日用品化されているため、本来必要ではないかもしれない情報に余儀なく取り囲まれています。忘却のフィルターを通すチャンスが奪われているのです。

また、受験勉強という人生の一大イベントがあり、覚えることが善で忘れることは悪ということが無意識に刷り込まれているのも、その人にとっての夢を見つげにくくしている一因なのかも知れません。

忘れるという作業をして、それでも忘れられなかったことを見つめ、それらをつなぎ合わせていくと、自分は本来何を求め、何をしたい人なのか、ひょっとしたら、その人の夢や信念にまでも辿り着きやすくなるのでは、と考えます。

私は以前、混合物の中から必要とする物質だけを取り出す分離膜の研究をしていましたが、よく考えてみると、人間も膨大な情報や言葉の中から自分自身に必須のものを振り分ける機能を備えた情報のフィルター、情報分離膜なのかも知れません。

年月という最も効率的な忘却フィルターを通して、どこかに残り続けた言葉や風景、そのほか色々なものがその人自身をかたちづくっているのだと思います。

「忘れること、忘れようとする」の大切さについて紹介させて頂きました。

四月からの新たなステージにおいても、時には、記憶の断捨離をしつつ自身の本質を見つめる時間を作って下さると幸いです。そして、その時、これまで学んだことやキャンパス内で目にした景色、先生や友人達と交わした会話が皆さんの心のどこかに残っていることを願っています。

本日は誠にありがとうございます。

# 2022年度 学位記授与式 式辞 (大学院)

国立大学法人名古屋工業大学長  
木下 隆利 (W50)

学位取得、誠におめでとうございます。本学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを励まし、支えてこられた保護者・関係者の皆様にも心からお慶び申し上げます。

在学中、新型コロナウイルス感染症に起因する大きな制約を受けながらも、皆さんは、修了認定に必要な要件を全て満たし、無事、今日の日を迎えられました。これまで経験したことのない過酷な環境下での皆さんの頑張りに最大の敬意を表します。

皆さんは本学においてそれぞれの工学分野における知識を身に着けた上で、自身のアイデアを形や技術にする、即ち工学の知識を工学の力に変えるノウハウ等、「工学の専門家」として必須の基礎力を身に着けることができました。

4月からは新たな環境において未知の課題に挑み、工学の専門家としてこれを捉え・解決するなど、独自で工学力を高め続けて頂きたいと思います。

また、大学院博士後期課程に進学される皆さんは、「心で工学」の視点で各自の研究を常に振り返りつつ、他に類のない独創的な博士論文の完成を目指してください。

さて、ここで一つご紹介したいのは、ある大学の元総長による「良い専門家とは」と題するご講演の内容です。

火山活動が活発化した地域の住民が、危機管理対策の一環として、いわゆるその道の専門家を雇用したのですが、予期に反し噴火の被害に遭ってしまったのです。

直後に駆けつけたマスコミから「こういった結果になってしまい、皆さんが雇われた専門家を訴えますか？」と投げかけられました。これに対し、住民は「いえ、訴えません。何故ならいつも私たちと一緒に考えてくれたし、我々が盆正月に飲んだくれていた時も、あの方は毎日毎日火口を覗きに行っていたことを私たちは

知っているから」と返したのです。

この話には、二つの指摘があったのではと思っています。

一つ目は「専門家である前に人間として信頼されること」。

これが良い専門家としての第一条件ではないかと。つまり、噴火の予知という専門家としてのミッションは果たせませんでした。日ごろから住民はこの専門家の振る舞いや後姿に人間としての信頼を読み取っていたのです。

もう一つは「先生はいつも私たちと一緒に考えてくれた」。つまり困っていることや分からないことを問い掛けると、自身の知識や考え方で住民をその都度納得させたという点です。専門家の知識や能力はみんなのものであり、共有化しなくてはならない。つまり、自分の能力すら私物化してはいけないというご指摘です。

講演の最後、「皆さんの能力は自分のものでも、家族のものでも、所属している大学のものでもなく、社会のために使うべきものだ」と認識してください」という言葉で締めくくられました。

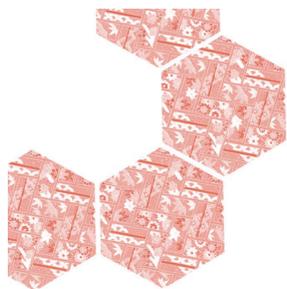
このお話は「心で工学」にも繋がる考え方で、本学でこれまで学んでこられた皆さんには、社会の声に耳を傾け、工学の力で何ができるか一緒に考えながら、様々な課題を解決して頂きたいと思います。

社会へと旅立つ皆さん、博士後期課程へと進学される皆さん。

社会・世界から信頼される工学の専門家を目指して下さい。

併せて、本学で培った工学の力は、自分のため、家族のため、所属する組織のためではなく、平和で豊かな未来のために活用して頂きたい。お願いして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



# 2022年度 名古屋工業会賞贈呈

(学生支援事業)

## 理事長挨拶

一般社団法人名古屋工業会

理事長 加川 純一 (K49)

名古屋工業会理事長の加川でございます。

皆さん御卒業おめでとうございます。

2022年度学位記授与式並びに工業会賞贈呈に当たり、全学同窓会組織であります、一般社団法人名古屋工業会を代表し、卒業されます皆様に心よりお祝いを申し上げます。同席の御家族や関係者の皆様には、栄えあるこの日を迎えられる感激と喜びは如何ばかりかと思ふ次第であります。

2020年よりコロナウイルス感染症の拡大により、工業会としては、学位記授与式に参列できませんでしたが、4年ぶりに直接工業会賞を贈呈することができ、我々も嬉しい限りです。

なお、受賞されました皆様は、大学からの推挙に基づき、卒業生の中から学業成績が特に優秀で豊かな感性とリーダーシップを持ち、他の模範になると認められた方に贈呈するものであります。受賞された方は勿論、今日卒業される全員がこの4年間の大学生活は勉学・研究に多々支障があったことと推察します。皆様これから進まれるそれぞれの分野で輝かしい成果をあげられることを期待しております。頑張ってください。

さて、今日を区切りとして皆さん実社会や進学と新しい一歩を踏み出されるに当たり、少し話をさせていただきます。

最近のKey WordとしてSDGs、脱炭素、DX、AI、そして「働き方改革」などがあげられます。我々の時代の高度経済成長の時代に比べ、多岐にわたり生み出された技術の上に次の新しい技術を見出すことをそれもかなりのスピードで達成するためのポテンシャルが要求されます。

ところで最近、対話型のChatGPTが話題ですが、AIは便利な反面その暴走の危険性も議



論されています。これからは様々な分野でAIを駆使することで、仕事の幅や質、そして速度が変わるでしょう。我々世代はついていけません、皆さんはそれに対応できるスキルも必要になるでしょう。ただその結果を鵜呑みにせず、しっかり真偽を見極め使って欲しいものです。

技術は常に進歩します。先ほども言いましたように、どんどん必要なポテンシャルは上がるわけですから、それに対応するにはいつまでも学ぶという習慣を持ち続けることだと思います。孔子も70才になるまでは精進の日々を説いていますし、渋沢栄一も『論語と算盤』のなかで「一旦怠けてしまえば最後まで怠けてしまうもの、怠けていて好結果が生まれることはない。怠けた結果はやはり怠けることであり、それがますます甚だしくなるのがオチである。だから人は良い習慣を身につけねばならない。つまり勤勉や努力の習慣が大事である。」と述べています。我々の時代に比べ10倍以上も速い技術進化の時代を生き抜く皆さんは、常に自分を磨き続けることが必要です。

「働き方改革」も楽になるというより、成果、時間管理など個々へのプレッシャー、責任は厳

しくなります。そして「言われたことをやるだけの人」の集まりでは新しいことは生み出されません。今の日本企業はどこも既存技術での存続に閉塞感があり、皆さんに求められるのは「自分で考え行動できる」資質です。「ものづくり日本、技術の日本」を再興するため頑張ってください。

名古屋工業会は全学同窓会組織として“輝く母校と同窓の絆を願って”をスローガンに『大学支援』を事業の第一の柱として、教育研究、海外留学、課外活動などを支援しております。

母校がさらに輝くためには、卒業生の皆さんの今後の活躍と頑張りが不可欠です。

もう一つの活動の柱の『会員相互の親睦』では、全国22支部で、実社会で活躍されている方

やOBの方々が、各地域で相互の親睦と啓発を深める活動をされています。

名古屋工業会のホームページに各支部の活動をお知らせしていますので、支部活動に参加し先輩諸氏と実社会で活躍するための人の繋がりを作ってください。各支部で先輩諸氏は皆さんを待っています。今日卒業される多くの方が工業会員になられていると思いますが、まだ未加入の方は是非入会ください。

最後になりましたが、これまで皆様を育てていただきました御家族の皆様には深い敬意を表しますと共に、教育、研究の御指導を頂きました教職員の皆様方に、心から謝意を表します。

本日は大変おめでとうございます。

名古屋工業会賞の贈呈が令和5年3月26日(日)に名古屋工業大学学位記授与式の後で行われ、加川理事長から次の19名に表彰状と記念品(刻銘入り時計)が贈呈された。

名古屋工業会賞は、第一部、第二部の各学科卒業生のうち、在学中の学業成績がきわめて優秀であり、豊かな感性を持ち他の学生の模範となる学生に対して、学長の推挙に基づき贈呈するものです。



贈呈者

(第一部)

生命・応用化学科	大島 芽依	加藤 瑠菜	加藤 冴花	井手水美
物理工学科	小川 智央	長屋 亘輝		
電気・機械工学科	垣見 旭宏	山口 太勢	木村 真帆	韓 修敏
情報工学科	伊藤 暢浩	徳田 祥太	鬼頭 航士	
社会工学科	鈴木 航	荒谷 純輝	横丁 千佳	
創造工学教育課程	中沢 正剛	山内 梨紗子		

(第二部)

機械工学科	山中 正人
-------	-------

# 2022年度 学位記授与式 挨拶 (大学院)

一般社団法人名古屋工業会  
理事長 加川 純一 (K49)

御紹介いただきました名古屋工業会理事長の加川でございます。

2022年度の名古屋工業大学大学院学位記授与式にあたり、全学同窓会であります一般社団法人名古屋工業会を代表して御挨拶させていただきます。

本日でたく学位記を授与されました皆様に心よりお祝いを申し上げます。

我々もこの式に参列させていただくのは4年ぶりですが、皆さんもコロナ禍でいろいろな制約があり、研究は大変だったと思います。恙なく(つつがなく)学位記を授与されその御努力は如何ばかりかと思えます。この経験は皆さんのこれからの人生できっと役に立つこともあるでしょう。また、今日の区切りの日を迎えられ、御家族の皆様もほっとされているのではないのでしょうか。

さて、明日から実社会あるいは次の勉学にと新しい一歩を踏み出される皆様に少し話をさせていただきます。

今は変革の時代と言われています。Key WordとしてSDGs、脱炭素、DXやAIという言葉が新聞紙上を賑わしています。最近話題になった対話式AIはかなり危ない部分を持ち合わせているようですが、非常に便利なようですね。それ以外にもいろいろの分野でAIは発達をしており、これからを背負っていく皆さんは避けて通れないツールになるのでしょう。結果についての責任は使った自分です。結果を十分確認した上で使っていただきたい。以前、ビルゲイツ氏が「AIは有望であるが危険な技術、原子力のようなものだ」とコメントし「性能は維持しつつ説明責任を果たせるような技術でなければならぬ」と警鐘しました。

また、この地域の得意な自動車産業では脱炭素の一つとして、EV化の波が大きな影響を及ぼしています。予想以上にEVへの切り替わりは早そうです。皆さんの多くは就職して商品開発や新規事業創出を託されることもあるでしょう。

う。その際に求められるのは「自ら考え行動する」です。待ちの人間ではできません。

技術の進歩は早い。我々が現役の時代に比べ数十倍も速いし、一方で開発した新技術もすぐ陳腐化することもあります。また、所属する会社の事業再編や工場閉鎖やリストラもあるかもしれません。そんな時代を生き抜く皆さんには、常に自分を磨き続けることが大事です。そして世の中の変化を敏感に感じ取って「いつまでも好奇心を持ち続け」そして「自分を見失わず自分らしさを持ち続ける」ことです。リカレントの機会もあると思います。その時は母校を頼ってみたいかがでしょう。

名古屋工業会は全学同窓会として“輝く母校と同窓の絆を願って”をスローガンに『大学支援』を事業の第一の柱として、学生の皆さんの教育研究、海外留学、課外活動を支援しております。

もう一つは『会員相互の親睦』です。工業会には全国に22の支部があり、諸先輩がそれぞれの地域で会員相互の親睦と啓発を深める活動をしております。名古屋工業会のホームページに各支部の活動をお知らせしておりますので、たまにはチェックしてみてください。そして参加いただき、実社会で活躍する先輩諸氏との人の繋がりや異業種間の情報交換をしてみてください。きっといつか役に立つと思います。各地域で先輩は皆さんを待っています。とにかく、このところ「日本のものづくりや新技術創出力」の地盤沈下が取りざたされており、その復興を皆さんに期待しております。頑張ってください。

最後になりましたが、これまで皆様を育てていただきました御家族の皆様には深い敬意を表しますと共に、教育、研究の御指導を頂きました教職員の皆様方に、心から謝意を表し、私の挨拶とします。

本日は大変おめでとうございます。



## 2023年度 入学式

名古屋工業大学2023年度入学式が4月6日(木)、名古屋市公会堂大ホールにおいて、午前に学部、午後に大学院に分かれて、2部制で執り行われた。

式典は、木下学長をはじめ、大学役員、加川名古屋工業会理事長等来賓が列席し、管弦楽団の奏楽で開式した。

木下学長から工学部985名、大学院工学研究科博士前期課程728名、博士後期課程36名、総数1,749名の入学が許可され、各代表が勉学・研究に専念する旨を宣誓した。続いて、木下

学長から入学者歓迎の式辞が述べられた。

最後に、新入生を歓迎して合唱団が学歌を合唱し、入学式を終了した。

保護者には4階ホールにて保護者説明会が開催され、木下学長の挨拶の後、犬塚副学長から名工大の特徴、入学から就職までの大学生活をサポートする体制について説明が行われた。また、仁科名古屋工業会常務理事から全学同窓会である名古屋工業会について説明があり、保護者に本会への理解と協力を求めた。



# 2023年度 学部入学式

## 学長式辞

国立大学法人名古屋工業大学長  
木下 隆利 (W50)

ご入学、誠におめでとうございます。

名古屋工業大学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを支えてこられた保護者・関係者の皆様方にも心からお慶び申し上げます。

この3年間、コロナ禍における様々な制限や閉塞感などに耐えながら勉学に励み、受験を勝ち抜いてこられました。心から敬意を表します。

さて、新入生の皆さんは、名古屋工業大学についてどんなイメージをお持ちですか？大学受験情報誌によると、就職率が極めて高い。大学院への進学率が高い。男子学生の比率が高いが、工学部としては女子学生の比率も国立大学では最も高い。授業料も安く交通も便利、等々と紹介されています。

そこで本日は、新入生にはご存知の方が少ないと思われる名工大の側面、「心で工学」をご紹介したいと思います。

21世紀に入ったばかりの頃でした。ある団体の新年の互礼会に出席したところ、新春の法話のためご出席の、あるお寺のご住職から「先ほどの自己紹介を聞いていると名工大ですから工学の専門家ですね？」と問いかけられ「ひとつお願いがあります。20世紀は頭を使って工学をなさっておられたと思いますが、21世紀はぜひ心を使って工学をしていただきたい」と託されたのです。

今世紀に入り人工知能が台頭してきている。人間を置き去りにした技術・テクノロジーが発展するとして、人工知能の進化にともなう懸念を切々と語られました。この言葉がいたく心に刺さり、ずっと引きずってきました。

ちょうど同じ頃です。産業界の方々との意見交換会で、ある中小企業の会長さんとお会いしました。太平洋戦争で焼野原になった街を、生き残った兄弟3人で何か使えそうなものはないかと歩いていたらネジが落ちていた。そのネジを拾い上げると運命的なものを感じ、これでやっていこうと決意されたそうです。その言葉に続いて「私が一代で今の会社を築けたのは、これまで関わった皆さんに真心で接したからだ。人を動かすのは言葉ではなく、木下さん、心だよ。真心はミサイルよりも強い」と語って下さいました。この時も衝撃的で愕然と立ち尽くしました。

年月という最も効果的な忘却フィルターを通り抜け、何年もの間、記憶に残っている「心・真心」が、21世紀は工学においても極めて重要になると確信し、学長就任時「心で工学」を本学の行動理念に据えました。

私が20代の頃、本学の大先輩からお聞きしたのですが、就職した紡績工場が織機を更新した



ところ、自分が卒研で設計したものが最新機種として導入されたとのことでした。勤勉性、器用さや学習意欲等が高い日本人の特性が技術力・生産力を急速に高め、20世紀後半は“made in Japan”が世界市場に溢れていました。工科系の大学・学部の果たした役割は言うまでもなく、先輩の逸話からも、ひとつの工業大学における教育・研究の活きた貢献の一端が垣間見えます。

当時、日本の産業力を高めた技術進化の本質は技術の改良でした。例えば、既存の製品の小型化・軽量化などの類で社会に利便性を提供していました。しかし、そうしていくうちに機能が高度化・細分化され、あまりにも多機能すぎて消費者が使いこなせない事態になってしまいました。すなわち、先に紹介したご住職の予見、技術が人間を置き去りにしてしまっている状況です。加えて、この人工知能やモノをインターネットで繋ぐ技術の導入などが勤勉性や器用さなどの日本人の特性をも無力化しつつあります。

このような状況のもと、工学のミッションは技術の改良から技術の革新・イノベーションへと変わりつつあります。こうした社会の要請に応える一つのアプローチとしても、頭脳だけでなく心を使って工学する「心で工学」は有効であると考えます。

即ち、技術者・研究者を目指す皆さんが、工学をご自身の発想や閃きを形にするためだけのツールではなく、社会の人々の希望・安心そして幸を満たすためのツールだと認識することがイノベーション創出の原点だからです。

本日は新入生の皆さんにはあまり知られていない本学の側面について紹介いたしました。この「心で工学」を合言葉に、それぞれの分野における工学の知識や考え方をひとつひとつ学び、そして「工学の力」とは何かが見え始めたころ、今抱えている大きな不安は、大きな期待へと変化していることでしょう。

本日は誠におめでとうございます。

# 2023年度 大学院入学式

## 学長式辞

国立大学法人名古屋工業大学長  
木下 隆利 (W50)

ご入学、誠にありがとうございます。本学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを励まし、支えてこられた保護者・関係者の皆様にも心からお慶び申し上げます。この3年間、パンデミックに起因する大きな制約と闘いながらも勉学に、そして研究に励み、それぞれの工学分野において卓越した足跡をしるし、大学院博士前期課程・博士後期課程に進学されたことに、心から敬意を表します。

さて、古い話で恐縮ですが、1950年代の後半、太平洋戦争後、間もない頃、近所のご婦人方の井戸端会議から「私たちはこの間の戦争で『どん底』を見たから、もう何を見ても驚かない」といった会話が漏れ聞こえてきました。4、5歳で耳にしたこの「どん底」という言葉が、幼いながらに心に刺さっていました。大人になってからですが、この言葉が、励ましの、合言葉になって、日本は奇跡的な復興を遂げたのではないかと想像しました。その後、“Japan as No.1”の時代を経てバブル期に入りますが、この時「バブルの中にいた日本人は、誰もバブルを自覚できなかった」と言います。バブルが弾けて、初めてバブルの中にいたと気づく。怖い話です。バブル崩壊後は少子高齢化も相まって、日本経済は低成長の時代が続いています。

戦後、奇跡的と言われる復興で、どん底から宙に舞い、原点としての「どん底」から足を離れた瞬間、正確な現況把握は遠のいていったのでしょうか。今の状況を冷静にグリッしたり自分を客観視したりする時には、どん底のような原点を定位置として、そこから見える真の姿・本質を常に捉えようとする努力が大切だと考えます。

1999年に約1年間、私はカリフォルニア工科大学にお邪魔しました。この時、研究室にいた若手研究者との出会いが大きな意味を持つことになりました。ある日の飲み会で「どん底」の話を出しました。その時、「どん底すらも客観視しないと、原点の揺らぎが見えない。だからどん底の少し下に身を置くべきだ。」として“under the bottom”と表現し、常に厳しく、今を客観視することの大切さを語りました。

2019年の秋、スタンフォード大学の教授になっ

ていた飲み仲間のマークが名工大で開催された国際シンポジウムに偶然招待されていました。久しぶりに再会でき、延々と懐かしい話を交す最中、マークから突然“under the bottom”が飛び出しました。私が帰国した後も時々この話が出たそうで、「仕事もうまくいかなくなる時など、この“under the bottom”の話を思い出し、自分を冷静に見つめている。」というのです。感激と同時に、当時の飲み仲間との固い絆を実感しました。

シンポジウム閉幕の直前、私が次期学長に就任する話を聞いたとして、「就任祝いをするから、ぜひスタンフォードに来い」と不意に言われ、戸惑いましたが、20年を経てマークが発した“under the bottom”の一言が、背中を押してくれました。

かつての飲み仲間も集まり、ミニ同窓会は大いに盛り上がりました。

翌朝「せっかくだからキャンパスを見学しろよ」ということになりました。美術館が二つ、コンサートホールが野外も入れて三つありました。パプアニューギニアの住民の生活を再現した森もあり「ここでよく瞑想する」そうです。美術館、コンサートホール、瞑想する場など「大学の教育・研究には、こういう仕掛けが大切だよ」と言われました。スタンフォード大のキャンパスに立ち、「心で工学」を育むに相応しいアート溢れるキャンパスを作ろうと思立ちました。

帰国後、愛知県立芸術大学の戸山学長に思いの丈を語り「御器所が丘にアートの風を送ってください」とお願いをしたところ、ご快諾いただきました。とても幸運でした。その後、学内には壁画やアート作品などが導入され、現在に至っています。

幼い頃や海外での偶然の出会いとその時交わされた忘れられない会話・言葉が連なって、アート溢れるキャンパス構想にたどり着いた、というお話を紹介しました。

皆さんには、大学院において新たな出会い・偶然の出会いが待ち受けています。

コロナ禍で、少し心が内向きになっている方も多いのではないのでしょうか？

この入学式を幕開けに、心を開き、一步外に踏み出しては如何でしょう！

本日は誠にありがとうございます。

## 〈新入学の皆さんへのメッセージ〉 (2023年度)

名古屋工業大学・大学院入学された皆さん、おめでとうございます。

今年の入学式には4年ぶりに参列させていただき、皆様の喜び溢れた姿を拝見し、非常に嬉しく感じました。心からお祝い申し上げます。入学にあたって、この一年コロナ禍の中、皆さん、受験や卒業への頑張りは大変だったと思いますし、御家族、関係者の皆さんもほっとされていると思います。あらためて全学同窓会・名古屋工業会を代表して皆さんにメッセージを送りたいと思います。

当名古屋工業会の活動については、大学院進学の方はすでに御存知だと思いますが、簡単に紹介します。名古屋工業会は、明治38年(1905年)名古屋工業大学の前進である名古屋高等工業学校が創立、その10年後の大正4年(1915年)に同窓会組織として設立され現在まで至っており100年以上の歴史を刻んで活動し続けています。工業会の活動は、「輝く母校と同窓の絆を願って」をスローガンに『大学支援』と『会員相互の親睦』を事業の柱としています。

『大学支援』では、教育研究活動、海外留学支援などグローバルな人材育成のため、留学生プロジェクトの支援をしております。コロナ禍の為、留学は難しい状況が続いており、皆さんへのコロナ支援金として役に立ていただきましたが、この留学プロジェクトが再開されれば、皆さんも海外経験をして将来活躍の一助としてください。また、工業会から大学への寄付金(名古屋工業会基金)の中から、昨年度から、著名ジャーナルに自身の学術論文が掲載された方を対象に、学生Q1ジャーナル賞を創設いただき、初年度として4名の方に褒賞金が贈呈されました。さらには挑戦的課外活動に対してもできる限り支援をしています。大学の4年間は皆さんにとって一番いい青春時代です。課外活動始め授業以外の活動を通してリーダーシップとかコミュニケーション能力を養って下さい。また就職についても、OB・OGトップセミナー開催などを通じて皆さんのお手伝いをしていきたいと思っております。

一方、『会員相互の親睦』活動を全国22支部で行っています。皆さんが将来就職した先で、きっと先輩諸氏が温かく迎えてくれるでしょう。是非、工業会に入学いただき、全国各地で様々な分野で活躍されている先輩と交流を深め、人生における人の繋がりを構築してください。

皆さんはこれから青春の一番いい4年または2年をこの名古屋工業大学で勉学に励まれるわけですが、それにあたり少々お話をさせていただきます。

まず学士課程入学の皆さんに、今は選挙権が18歳から与えられ、大学生の皆さんは成人として社会からみられるわけで、大人としての責任と自覚をもつ

て勉学に励んでいたきたい。自ら考え、目標を持ち、行動する人間を社会は必要としています。『自学自習の習慣』や『食欲に学ぶ習慣』を身につければ、皆さんの将来はきっとうまくいきます。そして大学で得た人の繋がりはそれをフォローしてくれます。

最近の企業では「何になりたいか」ではなく「何かをしたい」という人材を求め、大学名を伏せて採用試験を行うようです。名工大ブランドより個人の資質を重要視するようです。

また、私が卒業して半世紀、いろいろな業界で大きな変化がありました。新しくできた会社、合併、工場閉鎖などがですが、この地域に関わりの深い自動車業界や部品業界もこれから変化が起きるかもしれません。企業の淘汰は起こるでしょうし一企業が安住の場ではなくなってきており、この傾向はますます強くなります。自分を徹底的に磨くことは無駄にはなりません。

最近AIが話題になっていますが(特に対話式AI)、数年前にビル・ゲイツ氏がAIについてのコメントとして「有望ではあるが危険な技術、原子力のようなものだ」、「性能は維持しつつ説明責任を果たせるような技術でなければならない」と警鐘しました。AIも更に進化するでしょうし、きっと皆さんも使いこなさねば仕事ができない時代になると思います。博士前期課程に進学される皆様もさらに専門学問を追及される2年間ですが、社会や技術の変化は非常に速く、必要なことが刻々と変化していきます。技術の進化のスピードは速く、その変化に追従するため、先ほど述べた『自学自習の習慣』が必要なのです。

最後に、将来にわたっての友人や人との繋がりを作ることは、人生を豊かにするでしょう。全学同窓会組織の名古屋工業会に入会いただき、先輩達との交流の場を活用してください。異業種で活躍される方々との交流も可能です。(未加入の方の受付は名古屋工業会の事務局で行っています。場所は校内南西角の校友会館2階にあります)

健康第一で青春の数年間、コロナ禍によりなかなかできなかった学生生活を十分謳歌しながら、次のステージに向かって勉学・研究に精進され、将来の御活躍を期待しています。

2023年4月

名古屋工業会 理事長 加川 純一



## 新聞記事コーナー

## 中日新聞

掲載日	刊	面	氏名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2023/2/14	朝	9	松尾忠則	卒業生(K55)	(人事)多摩川精機 トップ交代 会長25年ぶり、社長は9年ぶり
2023/2/22	知多版朝	15	藤正督	生命・応用化学専攻	街角ニュース 【愛知県】◇活動助成金を贈る 公益財団法人「ALSOKありがとう運動財団」
2023/3/8	朝	27	加野泉	ダイバーシティ推進センター(社会学)	中部各県、経済分野で下位に低迷 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数
2023/3/10	夕	6	神取秀樹	生命・応用化学専攻	「未来切り開く力に」 中日文化賞、3年度ぶりに贈呈式
2023/3/11	朝	34	神取秀樹	生命・応用化学専攻	「受賞若手の励ましに」 中日文化賞、3年度ぶり贈呈式
2023/3/16	朝	17	竹下隆晴	電気・機械工学専攻	1918年の発明[でんきの礎]受賞 故椎尾さんの「ベルト一口整流器」
2023/3/18	朝	13	神取秀樹	生命・応用化学専攻	第75回中日文化賞 贈呈式
2023/3/22	WEB		川島壮生	在学生	【富山】青春燃やした たこ焼き完成 学生コンビ 理想の味研究重ね
2023/3/23	朝	30	日比貞雄	名誉教授(W35)	訃報 日比貞雄氏 名古屋工業大学名誉教授
2023/3/24	朝	8	名古屋工業大学	—	半導体人材育成へ 産学官で連絡協議会 デンソーなど参加
2023/3/28	朝	16	秀島栄三	社会工学専攻	堀川PRのあり方 市長と意見交わす 中区の市民団体
2023/4/1	朝	15	田山宏之	卒業生(F58)	統一地方選2023 名古屋市議選立候補者 定数六八届げ出順
2023/4/4	朝	4	名古屋工業大学	—	【広告】2023年度 躍進する大学の学長メッセージ
2023/4/5	朝	13	名古屋工業大学	—	名工大×名大医学部 最先端の医療技術開発へ連携協定締結、共創研究室も設置
2023/4/5	朝	12	名古屋工業大学	—	中部の韓国人留学生に交流の場 名古屋で連合会創立式



# ホットライン

## 名古屋工業会基金 学生Q1ジャーナル賞表彰式

名古屋工業会では、名古屋工業会基金の事業として、Q1ジャーナル(上位25%に位置する高い論文誌)に投稿した大学院生を表彰する学生論文賞を2022年度から創設しました。

2023年2月28日(火)名古屋工業大学2号館11階ラウンジにおいて、4名の大学院生を表彰しました。



(受賞者)

- ・博士前期課程工学専攻創造工学プログラム(環境都市分野)2年 富田竜矢
- ・博士前期課程工学専攻情報工学系プログラム2年 山本龍宜
- ・博士後期課程工学専攻1年 小山田悠介
- ・博士前期課程工学専攻電気・機械工学系プログラム2年 本間晴貴

## 永年勤続退職者に感謝状授与しました

名古屋工業会は、3月22日(水)、永年にわたり母校名古屋工業大学に奉職され、貢献され退職される教職員4名に感謝状と記念品を授与しました。

授与者(敬称略)

橋本芳宏、鈴木将人、大谷肇、中村美浩



名古屋工業会本部にて授与(当日は3人が出席されました)

# 情報 ネットワーク

## 2023(令和5)年度 尾張支部総会報告

と き：令和5年4月8日(土)

と ころ：名古屋文理大学文化フォーラム  
(稲沢市民会館)小ホール

昨年に引き続き、尾張支部総会は対面形式で開催しました。当初は酒類提供なしの懇親会ありで、参加費を徴収する内容で会員に連絡を行いました。ところが、参加希望者が少なく、緊急三役会を開きました。計画時不明瞭だった新型コロナウイルスの5類移行日5月8日が、総会開催日より後であった事から、懇親会を懇談会に改め会費を無料とすると共に、未会員にも役員から声かけをしてもらい、27名の卒業生(会員、未会員含む)の参加を持って開催する事ができました。また今年から司会進行も役員が担う事になり、小久江副支部長が任に当たりました。以下は、その報告です。

### 《第1部：支部総会》

名工会尾張支部長 伊藤美保の挨拶のあと、ご来賓の名古屋工業会 加川理事長、名古屋工業大学を代表して河邊学長特別補佐のご挨拶を頂きました。その後、元名工会尾張支部長 玉田欽也様の高齢者叙勲(旭日単光章)を祝う記念品贈呈を行い、ご本人から一言を頂きました。

### 《第2部：特別講演》

名古屋工業大学名誉教授 岩田彰先生に「脳とAI-ChatGTP／生成系AIで、AIは新ステージへ」の特別講演がありました。自然な文章で答えてくれるChatGTPが、検索エンジン革命と言われている理由の説明や事例紹介を受けました。またコロナ後に急速に生成系AI(ディープラーニング)が進展・普及した理由や、製造業／農業／林業分野等の事例紹介の説明も受け、AIに関する多くの知識を得る事ができました。

### 《第3部：ミニコンサート》

ティータイム後に、ソプラノ／メゾソプラノ



ミニコンサート

の二重唱にピアノが加わった女性3名によるミニコンサートを参加者全員で拝聴しました。著名な日本語／外国語の楽曲の間に、彼女らのオリジナルな小笑い・小話も交え、楽しい時間を共有しました。

### 《第4部：写真撮影》

総勢34名全員が舞台前に集合し、記念写真を撮影しました。(カメラマンも兼ねた小久江副支部長は写っておりません。)



集合写真

### 《第5部：懇談会》

コーヒー／軽食を頂きながらの懇談会を実施し、交流を深めました。午後6時に散会しました。

尚、来年度の尾張支部総会は、令和6年4月13日(土)に、名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールの予約を取りました。来年度の総会の内容については、尾張支部役員会にて検討して参ります。

記：尾張副支部長 小久江 智之(M53)

## 令和4(2022)年度「計測会賞」を授与

2022年度の計測会賞を授与した(写真1)。受賞者は物理工学科応用物理分野を卒業された中沢正剛さん(写真2)。卒業式の日にとり行われた学位記授与式の間、2号館0232教室で賞を渡した。3月26日定刻12時40分、分野長高橋聡先生の卒業生へ贈る言葉で、学位記授与式は始まった。

計測会賞を授与する番だ。喜びと期待と不安が入り混じった門出の50名あまりを前に、卒業おめでとうもそこそこ、「皆さん、今日から計測会の会員です。メールアドレスを登録下さい」。初の試み『計測会のしおり(写真3)』を全員に配り、「記載のQRコードを開き連絡できるメールアドレス入力を一」と、精一杯お願いした。その後、表彰状と記念品を中沢正剛さんに授与した。

計測会賞は、応用物理分野の卒業生から成績優秀な学生1名を表彰する。歴史を刻んでおり、学生の間ではブランドある賞とも漏れ聞く。これからも継続し、価値を高めたいと思う。

尚、卒業のはなむけに、2つのことばを贈った(写真4)。

「これから社会へ出られる方、進学される方、ともども大切にしていきたいことばです。

まず一つは、『答えは自ら見出す』。今までは、答えがあり、そこにいかにしてたどり着くかという取り組みが多かったのではないのでしょうか。これか

ら遭遇される多くは、答えが決まっています。皆さん自身が答えを見出さねばならないのです。自ら考え、判断し、答えを決めていくのです。

「できない理由ではなく、どうしたらできるか」を「常識にとらわれすぎず」、且つ「原理・原則に則って」考え、行動してください。おのずと答がみえてくるでしょう。

答えは自ら見出す、大切にしてください。

もう一つは、『目標は高く掲げる』。目標は、ものづくりの目標、研究の目標、更には人生の目標など様々です。いずれも、自分の目線より、1ランク、2ランク高い目標を掲げるという思いを大切にしてください。

ものづくりを例にとると、自分の思いをものでも表現し、お客様の笑顔を実現する。やりがいのいっぱい詰まった世界です。だが、楽ではありません。同じ汗をかくなら、日本、いや世界No.1を目指して欲しいと思います。「世界No.1を目指そう」と思うことが大切です。思えば、それがスタートラインを切ることです。

もちろん、達成できるとは限りません。しかし、そのチャレンジは、皆さん自身を成長させ、次の取り組みを成功させる原動力になります」

目標を高く掲げ、答えは自ら見出す。

ご卒業に当たっての、贈る言葉とします。

記：計測会会長 寺倉修(F50)



写真 1. 計測会賞を授与

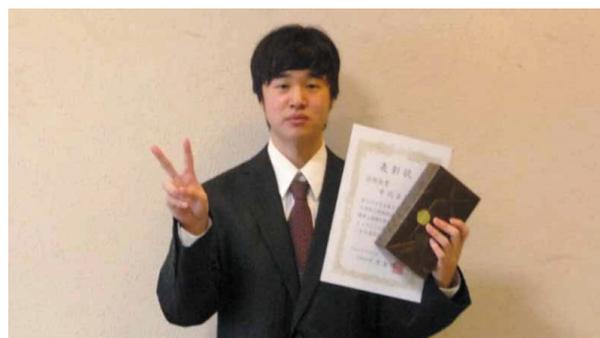


写真 2. 中沢正剛さん、手には表彰状と記念品



写真 3. 計測会しおり「入会の案内」



写真 4. 2つのことばを贈った

## 第133回 名工大ごきそ会報告

第133回名工大ごきそ会は、令和5年3月30日(木)名古屋市守山区に位置する緑ヶ丘カンツリークラブで11名の参加を得て開催されました。快晴で穏やかな天気の中、満開の桜を愛でながらのゴルフ日和でした。

当日は直前で2名の方の都合が悪くなり、1組減り3組でのプレーになりました。午前中は当クラブのオープンコンペにも参加する形になり、商品を獲得された方もいました。

また、順番待ちのティーグラウンドでは満開の桜をバックにキャディーさんと写真を撮る人もおり、終始和やかな雰囲気でのプレーとなりました。

今回の優勝者は当クラブメンバーの梶原俊彦さんで、グロス88、ネット69のスコアでした。後半の追い上げが素晴らしく見事優勝を獲得されました。準優勝者は伊藤哲夫さんで、グロス111、ネット75の成績でした。今回はハンディキャップに見合うスコアにまとめられ良い成績になりました。第三位は水谷尚美さんで、グロス101、ネット77の成績でした。BB賞は伊佐治武さんが獲得されました。特別賞として、ベストグロス賞は平岡雄偉さんでグロス88の立派な成績でした。ニアピン賞は泉地正章さんが2本、岡田聡さんが1本、でした。バーディー賞は梶原さん、という結果でした。

プレー後の懇親会では和気藹藹の中、次回の予定を確認し散会となりました。次回は、代表幹事の篠田様のご紹介で6月8日(木)みよし市に位置する三好CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会では、新会員を募集しております。愛知県内のゴルフクラブで年4回開催しています。気楽にプレーできますので、興味のある方は山田までご連絡ください。(E-mail:kazuoy50@hm10.aitai.ne.jp)

記：山田和男(E47)



## 第254回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

名工会東京支部 第254回ゴルフ大会は、3月30日(木)に 松下 昭様のご紹介により神奈川県の本厚木カントリークラブで開催されました。

当日は初夏を思わせる好天の下、参加者15名がアウト、イン各2組 計4組で、満開の桜を眺めながら熱戦を繰り広げ、全員が無事ホールアウト致しました。

結果は、A40篠原 克彦さんが、グロス86、ネット66の素晴らしいスコアで見事優勝されました。

準優勝は D36 加藤 精也さん(グロス107、ネット73)、3位は A40 馬嶋 建さん(グロス89、ネット73) でした。また大波賞はA44 山川元伸さんが、62→52で見事獲得されました。

プレー終了後の懇親会では、この他 順位賞(5位、10位、15位)、ニアピン賞が各該当者に授与され、受賞者のご挨拶や賑やかな懇談の内に無事懇親会を終了致しました。

なお 次回(No.255回)開催は 6月1日(木)中山CCの予定です。次回大会実行委員よりご案内をいたしますので、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

また当会の活動問い合わせ、入会ご希望、ゲスト参加ご希望などがある方は M39津田卓美(nogitsuda3110@gmail.com)までご連絡をお願いします。

実行委員：田北元良(C34)  
加藤精也(D36)



前列左より：A40 篠原克彦、B48 石川 正、E33 藤田正浩、  
B45 林 利信、C34 田北元良、G62 中村理恵  
後列左より：M42 河野正武、A40 馬嶋 建、A40 三好 修、  
D35 済木良亮、D36 加藤精也、D39 竹林義之、  
M39 津田卓美、Mb49 西口義久、A44 山川元伸

## 大阪支部ゴルフ 第300回名古屋工大会報告

第300回記念大会は春爛漫の4月5日(水)、有馬ロイヤルゴルフクラブにて開催されました。当会は戦後発足以来、当初は6回/年、その後4回/年の頻度で歴史を重ね今日に至ります。当日は曇天ながらもまずまずの天気恵まれ、遠路参加の元会員や初参加4名もあり、賑やかな25名のコンペとなりました。

難しいコース設定に皆様スコアが伸び悩む中、すばらしいスコアで優勝されたのはK45星野秀弘さん(グロス83、ネット75)、準優勝はK48加藤修さん(グロス96、ネット77)、3位は初参加B46伊田嘉昌さん(グロス109、ネット80)、またブービー賞はK48岡本博一さんが獲得されました。次回(301回大会)は6月2日(金)武庫の台CCにて開催の予定です。

当会は新会員を募集中です。入会ご希望の方はお気軽に小川二郎までご連絡下さい；  
jogawa261021@gmail.com

記：小川二郎(E49)



第300回大会参加者（以下敬称略）

前列左から：E47川越、B46伊田、W37堀、C36籠谷、  
K40河辺、K43俵、K48岡本  
後列左から：M51坪田、A46福永、F46黒田、A46岡崎、  
D38生信、W38山本、W42長江、C45吉田、  
A49颯持、C46丸尾、K49布谷、C48稲葉、  
K48加藤、K45星野、E49三木、E49小川、  
E57中井、K48今崎

## あなたも「ごきそ」の表紙を飾ってみませんか？

### 名古屋工業会誌「ごきそ」表紙掲載写真募集

一般社団法人名古屋工業会（名古屋工業大学全学同窓会）では、会誌「ごきそ」を幅広い年代の方が交流できるツールとして活用いただけるよう、同窓生の皆様から随筆や紀行などの原稿と共に、表紙に掲載する写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただく写真や写真データ(JPEG)は次の要領でお願い致します。

- \* 未発表の作品で、他への応募予定のないもの
- \* プリント写真ならば2 L判程度の大きさ、写真データならば左右のピクセル1,000以上
- \* 構図は縦長（縦位置）を希望（横長の場合はトリミングさせていただきます）
- \* 作品のタイトルと簡単な説明、撮影者の氏名（卒業学科・卒業年）及び連絡先を明記
- \* 国立大学法人の同窓会誌のため政治色や宗教色を感じさせるものは避けてください。
- \* 肖像権が生ずるような人物が特定できるものは避けてください。
- \* 採用の写真は編集会議で諮ります（投稿＝掲載とはならないことをご了承ください）
- \* 表紙に採用された場合は薄謝（クオカード）を進呈いたします。

【送り先】 〒466-0061 愛知県名古屋市昭和区御器所町字木市29番  
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内 一般社団法人名古屋工業会  
E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp

# 令和5 (2023) 年度名古屋支部総会

令和5 (2023) 年度工業会名古屋支部総会を下記の通り開催致します。なお、総会終了後に開催します講演会は、名古屋工業大学の全学公開講座との共催事業として実施いたします。会員のみなさまにおかれましては、是非ご出席頂きたくお願い申し上げます。

1. 日 時：令和5 (2023) 年 6月24日(土) 12:30 ~ 受付開始
2. 場 所：総 会 名古屋工業大学 2号館 3階 0232教室  
講演会 名古屋工業大学 2号館 1階 0211教室  
懇親会 名古屋工業大学 大学会館
3. 日 程：1) 総会(13:00 ~ 13:45)  
2) 講演会「重要文化財名古屋テレビ塔と久屋大通公園の整備」(14:00 ~ 17:00)  
講演①「名古屋都心部の再生」  
講演②「久屋大通の再生(Park-PFI)」  
講演③「国指定重要文化財 名古屋テレビ塔」  
講演④「名古屋テレビ塔の耐震改修工事の概要」  
講師：①公益財団法人名古屋まちづくり公社 中菌昭彦 常務理事  
②名古屋市住宅都市局 横井智雄 課長  
③名古屋工業大学 夏目欣昇 准教授  
④(株)日建設計 杉浦盛基 執行役員  
3) 懇親会(17:30 ~ 19:00)
4. 会 費：総会及び講演会：無料 懇親会：1名2,000円
5. 申 込 先：参加希望される方は、下記の支部連絡先又は単科会連絡幹事等へ、事前にご連絡下さい。

申込締切 6月1日(木)

なお、総会当日、発熱や体調がすぐれない場合には、参加を見合わせていただくようお願い致します。

支部連絡先：宇佐美 智伯(名古屋工業会名古屋支部庶務幹事)

E-mail：kougyoukai@archi.ace.nitech.ac.jp TEL：090-8557-3050

C E 会 山盛 康 (C③) TEL052-693-5351	名窯会 西部 徹 (Y③) TEL070-4211-4555
光鱈会 佐野 泰久 (A⑬) TEL080-3617-3644	名晶会 佐藤 善昭 (K54) TEL0568-61-1841
巴 会 北村 憲彦 (M56) TEL052-735-5351	計測会 野村 正裕 (F55) TEL090-2014-8992
電影会 三宅 正人 (E60) TEL090-3581-4472	経友会 仁科 健 (B50) TEL052-891-5852
双友会 吉木 満 (W56) TEL0562-51-7525	情友会 犬塚 信博 (J62) TEL052-735-5050
緑 会 伊藤 龍美 (D60) TEL0561-83-0892	

※各単科会幹事様は、メールにて、参加者情報を、宇佐美あてにご連絡いただけますと幸いです。

## 企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで  
トータルサポートでお値打ち!!

### デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物 etc.  
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる組組みの書籍・表組みの異物も得意分野です。

### 印刷

カラー印刷：2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。  
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常オフセット印刷に遠くないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

### 製本

目次・体録記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。  
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットでもお手伝いします。

総合印刷の  
**栄光社**  
有限会社

〒466-0035 名古屋市中区松島町三丁目4番地 2F  
TEL: (052) 848-6148  
FAX: (052) 848-6518  
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>  
E-mail: eikou@theia.ocn.ne.jp

(株)ブライダルは  
名古屋工業大学会員の皆様の  
「結婚」を応援します。

45年の実績

登録料 33,000円(税込)

100%OFF



株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412  
<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄 3-7-13 コスモ栄ビル 9F  
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 28F  
豊橋支社 〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿無番地 豊橋駅ビルカルミア 4F

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

## 技術支援

メカから電気・電子、半導体まで  
開発設計、品質、生産技術、生産まで

## 研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、  
組込コンピュータ各種要素技術…  
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など  
各種未然防止手法  
マネジメント系全10講座—経営品質、もしどらーダシツプ、  
プロジェクト管理…

《Benchmarking》電動化・自動運転化コンポーネント等

**WORLDTECH** 株式会社 **ワールドテック**

代表取締役 寺倉修(F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階  
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp

## 広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

吉田奈央子  
濱田 晋一 (SC22)  
牧野 武彦  
後藤 富朗 (EJ9)  
杉本 英樹 (ZW6)  
安井 孝志 (D62)  
本多 沢雄 (ZY6)  
小坂井孝生 (K49)  
米谷 昭彦 (F60)  
横山 淳一 (FB6)  
菅田 愛美 (名古屋工業大学 企画広報課)

学外

祖父江貴宏 (SC4)  
松本 浩明 (SC19)  
浅井 一仁 (IIM21)  
廣瀬 光利 (E50)  
吉木 満 (W56)  
高取 奨 (D6)  
野々山尚志 (Y63)  
大矢 泰正 (K52)  
寺倉 修 (F50)  
入倉 則夫 (B47)

## 一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

\*広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。